

## ごあいさつ



福島市長

### 瀬戸孝則

「第52回全国実業団対抗テニス大会」が、多くの選手・役員の皆様をお迎えし、ここ福島市で盛大に開催されますことは、誠に喜ばしく、市民を代表し心から歓迎申し上げます。

本市では、平成23年3月に発生した東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故への対応、特に市内全域の除染について計画的に鋭意取り組むとともに、ふるさとに「自信」と「誇り」を持ち、市民との協働による「美しい元気な福島の創造」を着実に具現化するため、各種施策を積極的に進めることに加え、ふるさと福島の元氣と安心な生活を取り戻し、夢のある未来を築くため「希望ある復興」に全力で取り組んでいるところであります。

このような中、今年で第52回目を迎え長い歴史と伝統があり、全国各地の予選を勝ち抜かれた強豪チームが、ここ福島市に集い優勝目指して気迫のこもった試合を披露していただきますことは大変意義深く、本市のスポーツ推進に大きく寄与するものと確信しております。

選手の皆さんには、優勝を目指し日頃の練習成果を存分に発揮されるとともに、この機会に相互の交流を深められることに加え、モモなど福島の味覚を食して福島のよさに触れ、思い出に残る大会にさせていただきたいと思っております。

結びに、本大会の開催にあたりご尽力賜りました関係の皆様に対し、深く敬意を表しますとともに、大会のご盛會を心からご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

## ごあいさつ



公益財団法人 日本テニス協会  
実業団委員会委員長

### 矢澤 猛

お蔭さまで全国実業団対抗テニス大会も本年で第52回を迎え、ここ福島県福島市にて開催出来ることになり、今までにない嬉しさを感じ、感謝したいと存じます。それというのも一昨年の東日本大震災によって大きな被害を受けたのにもかかわらず、地元のテニス関係各位の一方ならぬ努力によって見事に復興し、本大会が開催できるようになったからであります。特に会津若松出身であります戸川実業団委員の力強い情熱があったからだと思います。大会参加チームの皆様方も、通常ではない厳しい状況下で、本大会開催に向けてご尽力いただいた方々への感謝の気持ちを忘れないよう、そして地元の皆さんが大会を観戦して、大きな元気をもらえるような試合を繰り広げていただきたいと思います。

後になりましたが、厳しい予選を勝ち抜き、ここ福島市にお集まりいただいた選手の皆さん、おめでとうございます。これまでの予選会でもとても厳しい試合が続いてきた事と思いますが、これからの3日間が本番です。日頃の鍛錬の成果を存分に発揮できる絶好のチャンスととらえて是非頑張ってくださいと思います。そしてビジネスパル日本一を目指して素晴らしいテニスを観客や応援の人たちに披露し、先ほどにも書きましたが被災地の皆様に大きな元気を配っていただきたいと思います。また試合以外の時間では他チームとの親睦、交流を深め、福島市での3日間を思う存分楽しんでいただき、沢山の思い出話をそれぞれの会社や地元の方々を持ち帰っていただきたいと思います。

最後になりますが、ご後援頂いております朝日新聞社、福島県、福島市の関係各位、ご協賛頂いておりますブリヂストンスポーツ株式会社、トップツアー株式会社、ご協力頂いております福島県テニス協会をはじめ、ご支援を頂いております関係各位にお礼を申し上げ、ご挨拶と致します。